

第三者評価結果

事業所名：キンダーガーデンやまと

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的な計画は保育理念とそれに基づいた保育方針や目標を踏まえ、子どもの最善の利益を基本に、法人内6園の保育士の意見や思いを反映させ、法人本部で6園共通の計画を作成しています。 全体的な計画には、保育所保育指針が定めている狙いを明記しています。 幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿については、保育の基礎となる健康や人間関係他5つの領域に盛り込み、理解し実践しやすいように工夫しています。 年度末に年間指導計画とともに確認を行い、評価し次年度に活かしています。 <p>【期待事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的な計画の地域の特色欄は、法人内で同じになっていますが、各園独自の特色を記載し、「地域に根ざした園」を目指すことを期待します。 	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> 空調設備は完備していますが、当園は自然に対して体温調整ができる強い体づくりを園の特徴としていることから、出来るだけ使用は控えています。入園時に「園生活のしおり」で周知しています。 遊具等は、「玩具等消毒チェック表」に基づき一日3回点検しています。園長は自ら安全衛生推進者として、安全衛生及び健康管理マニュアルを活用して衛生管理に努めています。保護者は寝具のシーツを週末に持ち帰り洗濯しています。 家具、遊具等は、木製で暖かみのある素材を使用しています。 子どもの発達状況や遊びの状況を考慮し、子どもが迷わず、悩まず快適に遊べるよう子どもの動線を整え保育環境を整備しています。また机を自在に動かすことで、生活に合わせたスペースの確保を行っています。 午睡時には静かな音楽をかけ、眠りやすい環境を整えています。トイレは清潔で明るく、子どもの年齢に合わせた大きさのトイレを使用しています。 	
<p>【A3】 A-1-(2)-②</p> <p>一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童票から一人ひとりの発達状況や健康状況等家庭の状況を把握し職員間で情報を共有しています。年齢や発達に応じた個人差を十分把握したうえで、人権に配慮した保育を行っています。 乳児が言葉でうまく言えない場合は、その裏にある気持ちや言葉にならない表情や仕草を汲み取り、時には代弁を行い子どもの気持ちに寄り添った保育を行っています。 スキンシップにより愛着関係を育み、保育士との関りの心地よさや安心感を得られるように努めています。 幼児に対しては、保育士が話しをするだけでなく子どもたちの意見を聞き、子ども同士の話合いによって活動内容を決める等工夫しています。 子どもに合わせて短い分かりやすい言葉で伝えています。優しい声で、子どもの年齢や発達に合わせた表現を心がけています。園長は、せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないよう職員会議やミーティングで徹底しています。 <p>【期待事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員が子どもに対して不用意な言葉を用いないよう更なる自己研鑽を期待します。 	
<p>【A4】 A-1-(2)-③</p> <p>子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。</p>	b

<コメント>

- ・基本的な生活習慣を身に着けるにあたっては、発達年齢による対応や方法を職員に周知しています。一人ひとりの自ら行おうとする姿をやさしく見守り、次の成長に無理なく繋ぐことができるように努めています。
- ・着替えなど達成感を感じられるようさりげなく援助することを大切にしています。自分でできた時にはその姿を褒め、自信につながるよう援助をしています。
- ・個人差には十分な配慮のもとで、無理なく根気よく関わることができるよう努めています。
- ・デイリープログラムに沿って、午前中は戸外遊び、午後に睡眠をとり、活動と休息のバランスをとっています。
- ・法人本部所属の看護師による健康教育を通し、基本的な生活習慣を身につけることの大切さを学んでいます。

【期待事項】

- ・基本的な生活習慣の自立にあたっては、わかりやすく説明することで更なる効果を期待します。

A-1-(2)-④

【A5】 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

a

<コメント>

- ・絵本、ブロック等遊具の選択幅を広げ、自由に選択できることで、遊びに集中できるように環境を設定しています。
- ・園庭がないので、戸外遊びに注力し、マット運動やリトミックを採り入れ運動量を確保しています。朝夕は合同保育を実施しています。異年齢と一緒に遊ぶ時間を大切にしています。そこから年上児への憧れの気持ちが生まれ、年下児を思いやる気持ちが豊かになるように支援しています。
- ・子ども同士で「何をしたいのか」等を話し合い、友だちと共通の目的の実現に向けて、考え、工夫出来るように援助しています。
- ・歩道の歩き方、信号の決まり等公共の場での約束事が身についています。交通ルール、公共の乗り物を利用する時の決まり等社会的なルールが身につくよう援助しています。
- ・身近なところに自然と触れ合う場所が多数あり、自然環境や季節の変化を感じ、自ら身体を動かして遊ぶことを楽しみ、自然を遊びの中に取り入れる機会を多く作っています。その中で経験したこと、感じたこと、考えたこと等を自由に表現できるよう援助しています。
- ・散歩先で行きかう地域の方へ挨拶を行い、地域との関係を大切にしています。
- ・4歳児はピアノを習い音感を育んでいるのが当園の特徴です。

A-1-(2)-⑤

【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

- ・0歳児と1歳児は合同保育です。いつもは部屋の奥の採光がとれる天窓のある空間で、長時間ゆったりと過ごしています。
- ・着脱等1対1の関係で、自分は愛されているという信頼関係を築き、顔を見ながら言葉をかけています。
- ・子どもの表情、まだ言葉にならない声、仕草等から思いをくみとり、言語化しながら語りかけ、応答的な関わりを行っています。表情を大切にしており、優しく語りながら援助しています。
- ・生活面について一人ひとりの思いを尊重し、発達に合わせて丁寧に援助しています。遊びの面では、マルチファンクションの遊具等遊び込める環境を設定しています。月間指導計画の中に個別に指導する計画があり、月齢や一人ひとりの発達に合わせて、丁寧な保育に努めています。
- ・0歳児は特に生命の維持を大切にしており、保護者には、食事、排泄、睡眠という基礎的な生活習慣の様子を連絡帳できめ細かに伝えています。

A-1-(2)-⑥

【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

b

<コメント>

- ・子どもに寄り添うように努めています。色々な場面で子どもがやってみようとする姿を受け止め、子ども自身が主体的に物事に取り組み、達成感や成功体験につながるよう努めています。
- ・探索活動については、周りには危険物がないか、遊具は危険な箇所がないか等を確認してから活動するよう心掛けています。
- ・一人ひとり思いを受け止め共感し、情緒の安定を図りながら心の動きや発達について担任間で情報を共有しています。
- ・子どものお互いの気持ちを受け止め、納得した上で、その場で答えを出すよう、園長は職員に指導しています。言葉で上手く自己表現ができない子どもの気持ちを受け止め、一人ひとりに丁寧に寄り、友達の仲立ちをしています。
- ・2歳児と3歳児で合同保育を行い、クラスの壁を越えた保育も行っています。実習生との交流では職員以外の大人と関わることで新たな体験を積んでいます。
- ・送迎時は連絡帳を通して、保護者と情報交換を行い担任間で共有する中で、一人ひとりの子どもを理解し、その子に合った支援を行っています。

【期待事項】

- ・連絡帳の内容をより一層充実させ、保護者との更なる連携を図ることを期待します。

A-1-(2)-⑦

【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

(3歳児)

・保育士は集団の中で、子どもを平等に接するよう努めることで子どもは安心感を持って生活しています。保育士は色々な遊びを提供し、子どもの興味関心を広げながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるよう援助しています。

(4歳児)

・集団の中で自分たちの意見が言えるよう援助しています。集団の中で相手の思いに気付いたり自分の気持ちを伝えたりする経験を通して、興味関心がある活動を実現出来るような保育を進めています。

(5歳児)

・1つのテーマを決めて、集団の中で自分の個性を発揮し、またどう折り合いをつけ譲り合って、1つのことをやり遂げるよう援助しています。市内認可保育園の年長児の作品を、市内文化創造拠点にて展示する「やまとげんきっこアートフェスティバル」に出展し、保護者にその様子を伝えコミュニケーションを図っています。

A-1-(2)-⑧
【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・入口は段差がなく、車椅子でトイレ、エレベーターへの対応が可能です。その子どもに合わせた個別支援計画及び発達経過記録を作成しており、行事への参加方法等指導計画と関連付け保育を行っています。

・発達経過記録を期毎に評価し、成長に応じた保育に努めています。更に年度末に年間の評価を行い、次年度の計画につなげています。

・インクルーシブ保育を行う中で、お互いに仲間意識や思いやりの気持ちが育つよう保育士が仲立ちをしています。

・保護者との連絡帳や個人面談等では、生活環境について細かく情報交換を行い、全職員に周知することで連携した保育が行われています。

・保護者に了解を得た上で、大和市すくすく子育て課から臨床心理士が園に向き子どもの様子を観察し、相談や助言を受けています。市が主催している障がい者研修に参加し報告することで、必要な知識や情報を共有しています。

A-1-(2)-⑨
【A10】 それぞれの子ども在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・在園時間に配慮し、生活のリズムを崩さないよう、同じリズムの中で過ごせるように配慮しています。

・その子どもが好きな遊具を選択できるよう、子どもに合った遊具を提供しています。ゆったりと過ごせるようコーナー等を設けています。

・合同保育となるので上の子とも下の子とも楽しく過ごせるように工夫しています。

・延長保育を利用している子どもには補助食を提供しています。

・朝夕の伝達ノートを活用しながら引継ぎ時間を設けて、子どもの体調、けが、日中の出来事を保育士間で共有し、漏れないように努めています。

A-1-(2)-⑩
【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わり
に配慮している。

b

<コメント>

・年長クラスの年間指導計画に小学校就学に向けた活動の計画が記載されています。年長児は年度末に小学校を訪問し小学生と交流することで、見通しを得る機会が設けられています。(今年はコロナの影響で中止)

・保護者にはクラス説明会や小学校に就学するための健康診断の機会を捉え小学校の様子を伝え期待感が持てるようにしています。

・園長は幼保小連携連絡会に出席し就学先の情報を入手し職員会議で情報を共有しています。就学前には各就学先から園児の聞き取り調査があり、担当が一人ひとりの性格や成長過程を丁寧に伝えていきます。

・保育所児童保育要録は担当が丁寧に作成し、主任、園長が確認する仕組みになっています。

【期待事項】

・保護者が、子どもの就学への不安をなくし、より一層期待感がもてるようより積極的な対応を期待します。

A-1-(3) 健康管理

第三者評価結果

【A12】 A-1-(3)-①
子どもの健康管理を適切に行っている。

a

<コメント>

- ・健康管理マニュアルがあり、朝の受け入れ時から降園時まで常に一人ひとりの子どもの日々の健康状態を把握し、健康管理全般に気を配っています。健康診断の状況などにも留意しています。
- ・子どもの体調悪化、けがなどについては園での様子、状況を降園時に保護者に詳しく説明しています。また、37.5℃以上の発熱、嘔吐、下痢などは速やかに連絡しています。
- ・保健計画を作成し、子どもの健康管理全般について組織的に対応・対処しています。
- ・既往症、予防接種の状況などを生育歴、児童票等から把握するとともに、日々一人ひとりの健康状態に留意し、ミーティングで様子を伝えあっています。
- ・子どもの健康管理に関する方針について、「園生活のしおり」、「保健だより」（2か月に1回配布）に記載し保護者に伝えています。
- ・職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を習得するため担当者を研修に参加させ、受講後には報告書を提出するとともに、全員に普及教育を実施しています。日々の保育では大和市から貸与された体動センサーをベッドの下に設置し、異常時にはアラームが鳴る態勢をとっています。
- ・保護者に対しては、乳幼児突然死症候群について、気をつける点や病気の実態など必要な情報を玄関に掲示して情報を提供しています。

【A13】 A-1-(3)-②
健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

b

<コメント>

- ・健康診断、歯科健診の結果は定められた様式に記入され、記録はファイルされ事務室に保管されています。職員は何時でも閲覧でき、保育に活用されています。
- ・健康診断の結果の中で、肥満児、痩身児に留意し、歯科健診では虫歯に留意してその対応を保健計画に反映させています。
- ・健康診断・歯科健診の結果は、家庭での生活に活かされるように、保護者に口頭で伝えています。さらに、要注意点があれば詳しく伝えています。

【A14】 A-1-(3)-③
アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。

a

<コメント>

- ・アレルギー疾患のある子どもに対しては、医師の指導のもと、法人で定めた「食物アレルギー給食マニュアル」に基づき、子どもの状況に応じた適切な対応を行っています。
- ・慢性疾患等のある子どもが入園した場合は、医師の指示のもと適切な対応を行えるよう体制を整えています
- ・翌月の献立チェックの際、園と家庭の双方で情報交換し、連携を密にしています。
- ・食事の提供等において、他の子どもたちと区別するため、絵柄のついた食器を使用し、ふたをするとともに、名札を置き、給食係と保育士も確認し誤食のないようにしています。
- ・職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等に参加し、必要な知識、情報を得たり、技術を習得しています。
- ・他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るため、機会をとらえて看護師や栄養士が説明し、また、保健だよりで周知を図ったり、掲示板なども活用しています。

A-1-(4) 食事

第三者評価結果

【A15】 A-1-(4)-①
食事を楽しむことができるよう工夫をしている。

b

<コメント>

- ・食に関する豊かな経験ができるように食育計画を作成し、子どもたちの発達・発育を後押しするとともに、食の大切さ、食事の楽しさについて栄養士が毎月子どもたちにわかりやすく話をしています。食に関心を持つように園で栽培したものを食材として使っています。
- ・子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気を作るため、保育室を衛生的で、明るい雰囲気を保つように心がけています。テーブルやいすの高さも子どもの身の丈に合わせ、食器、食具も使いやすい形や材質のものを揃えています。
- ・担任の保育士は子どもの日常の食事の量を概ね把握していますが、その日の体調や気分に合わせて量を加減しています。
- ・給食の写真を玄関に掲示し、献立の内容が保護者にわかるようにするとともに試食会を実施し、保護者の関心を促しています。

【期待事項】

- ・献立について、さらに家庭との連携を期待します。

【A16】 A-1-(4)-②
子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。

a

<コメント>

- ・栄養士は毎日保育室に来て食事の様子を見たり、残食の量を継続的に調査し、子どもたちの好みの献立、好きな味付けや切り方などきめ細かく把握し、献立や調理の工夫に努めています。また、子どもの発育状況や体調管理にも気を配っています。
- ・各地の料理（沖縄、メキシコなど）も献立に取り入れ地域の食文化に触れ、また、行事にふさわしい献立の工夫にも努めています。
- ・衛生管理に関するマニュアルに基づき、管理体制を整えています。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携

第三者評価結果

【A17】 A-2-(1)-①
子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。

b

<コメント>

- ・連絡帳により、毎日、子どもの様子、健康状態等についての情報交換を行っています。
- ・入園説明会やクラス説明会で保育の意図や保育内容について、保護者に説明しています。
- ・子どもの成長の様子は、日々の連絡帳で継続的に把握してもらい、また、ホームページなどで定期的に発信し共有しています。
- ・家庭の状況、保護者との情報交換や相談の内容を必要に応じて児童票などに記録しています。

【期待事項】

- ・園での様子について、保護者の要望に応じて、幅広くきめ細やかな情報発信の取り組みを期待します。

A-2-(2) 保護者等の支援

第三者評価結果

【A18】 A-2-(2)-①
保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。

b

<コメント>

- ・保育士は保護者に対しては常に笑顔で、話しやすい、相談しやすい姿勢で接することに心がけています。積極的に保護者に声を掛け、コミュニケーションを図り、保護者との信頼関係の構築に努めています。
- ・保護者からの相談には、事務室、保育室、相談室などでいつでもプライバシーに配慮して丁寧に応じています。対応の系列は基本的に「保育士—主任保育士—園長」としてはいますが、クラス担任のみならず必要に応じ適任者も含め適切な対応を心がけています。
- ・保護者の就労等の事情により相談の時間、タイミングなどが限定される場合でも柔軟な対応に努めています。
- ・保護者に対しては、子育て相談を主体に随時相談に応じています。また、一時保育の実施により、地域の人々に対し貢献するとともに地域の人々の間の交流の場となっています。
- ・保護者からの相談の内容については記録簿を作り記録するとともに、必要に応じ児童票にも記載しています。

【期待事項】

- ・保護者がより安心して子育てのできる支援の取組みに期待します。

【A19】 A-2-(2)-②
家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。

b

<コメント>

- ・虐待の兆候を見逃さないように、マニュアル整備し、それに基づき早期発見・早期対応に努めるとともに職員研修を実施しています。
- ・保護者とのコミュニケーションに努めるとともに、毎日の子どもの様子や衣服の着脱時などに注意し、兆候発見に努めています。
- ・虐待の兆候を把握したときは、努めて複数の職員で確認し、ミーティングなどで対応を検討するとともに市役所（すくすく子育て課）に通報し連携して対応する体制ができています。
- ・虐待につながる恐れがある場合には、保護者と予防的にコミュニケーションを図るとともに、頻りに声を掛けて話を伺い、相談に応じるようにしています。
- ・職員を研修に参加させ、虐待に関する知識・認識を深め、受講後は普及教育を行い全職員で共有しています。

【期待事項】

- ・虐待予防の諸施策について、市役所、児童相談所等関係機関と連携を密にするとともに、合同の企画への参画を期待します。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
<p>A-3-(1)-① 【A20】 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	b
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士は自分が作成した毎日の日誌や月間カリキュラムなどの文書・資料や職員間での話し合い等を通じて自らの保育の振り返りを行い記録しています。 ・自己評価（振り返り）にあたっては、子どもの活動だけでなく、心の育ち、成長や課題を確認し、それらを次の保育に活かすようにしています。 ・自己評価（振り返り）はカリキュラムや主要行事など保育の結節に定期的を実施し、これらを年度末に総合し、園全体の自己評価とし保育の質の向上につなげています。保育士個々の自己評価から逐次、段階的にまとめ上げていくことにより、互いの学び合いや意識の向上、専門性の向上にもつながっています。 	
<p>【期待事項】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価（振り返り）から、より多く質の向上のための気づきが得られるよう、視点、プロセス、要領について引き続きの検討・改善を期待します。 	